

公開講演会

震災と現代経済、その復興と未来社会の展望

日時：2011年10月8日(土)・9日(日) 13:00~17:00

場所：立命館大学 BKC エポック立命21ホールと各教室

【第1日目】10月8日(土) 13:00-17:00

記念講演

会場：エポック立命21ホール 13:00-14:00

講師：安斎育郎 (立命館大学)：「福島で進行中の核の大惨事をどう見るか、何をなすべきか - - 自然科学者の立場から考える - -」

共通セッション

会場：エポック立命21ホール 14:00-17:00

テーマ：震災後の復興と未来社会を展望する

報告者：松尾匡 (立命館大学)

平岡和久 (立命館大学)

山川充夫 (福島大学) 「FUKUSHIMA 復興支援から見えてくること
-福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの活動 -」

司会：藤岡惇 (立命館大学)

【第2日目】10月9日(日) 13:00-17:00

共通セッション

会場：エポック立命21：K309 13:00-17:00

テーマ：原発問題を考え、政策代案を探る

報告者：張貞旭 (松山大学) 「日本の原子力損害賠償制度 (東海村臨界事故と福島事故関連) を中心に、アメリカを始め韓国・中国などの原賠法の現状と問題点を取りあげる」 (仮)

清水修二 (福島大学) 他

司会：角田修一 (立命館大学)

* 市民・一般の方の参加を歓迎いたします。参加費は無料です。

* なお、この企画は、基礎経済科学研究所との共催企画です。両日午前中には基礎経済科学研究所の第34回大会・分科会がエポック立命21の3Fで行われます。こちらの出席も可能です。

主催：経済学部研究推進施策プロジェクト

Shared Growth & Shared Development 研究プロジェクト

連絡先：松本 朗 (経済学部：内線 7447)